

下関国際新聞

中学1・2・3年生

下関市総合政策部
国際課

Tel:083(231)9653

Email:sskokusa@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

中学生米国派遣研修団8名が元気に帰関

8月1日、市内中学生派遣団員8名が姉妹都市である米国ピッツバーグ市（カリフォルニア州）に出発。5泊のホームステイを終え8月7日に帰関しました。

下関から世界へ、グローバルな人材育成に向けて！

平成12年度から始まった中学生米国派遣研修は、今年で18年目となり、下関市ではグローバルな人材育成に向け、8名の中学生を国際親善大使に任命し、姉妹都市のピッツバーグ市へ派遣しました。

本年度の派遣団は、ホームステイをしながら市議会、警察署、州議事堂、総領事館等の視察、地元高校生との交流等を通して、本場の英語や異文化を肌で体験しました。

●事前研修



6月下旬から始まった事前研修では、ホームステイにおける注意事項の確認や、前年度研修に参加した団員との意見交換、現地での披露する日本文化の紹介方法の検討等を行いました。また、日本の中学校生活についてプレゼンテーションを行うため、パワーポイントの作成や発表原稿の翻訳に熱心に取り組まれました。

●助成金の贈呈

より多くの中学生に米国派遣の機会を与えたいという目的で、国際ソロップチミスト東下関の皆さまから今年も団員

●ピッツバーグへ出発



早朝、新下関駅での出発式を終え、家族や先生方に見送られ新幹線で福岡空港へ。仁川で乗り換え

時、アメリカへの旅行者には特に審査が厳しく、一人ひとりに英語で質問を受け、渡米前に韓国で英語力を試されることとなりました。

●ピッツバーグ探訪

二日目は、ピッツバーグ市内の視察です。市議会では市役所の職員、市議会議員の方々があたたかく迎えてくださいました。その後、警察署

を訪問し、署長と記念写真を撮りました。署内で市内の監視カメラの設置場所やパトカーを見学しました。



最初の訪問先である在サンフランシスコ日本国総領事館は、米国にある日本の在外公館の中で最も歴史が古く、1870年に開設されました。青野副領事から在外公館の主な

ピッツバーグ市

- ・人口: 7万人
- ・面積: 40km²
- ・姉妹都市締結: 1998年12月18日
- ・アメリカ西海岸サンフランシスコの東約60km

●学校訪問・交流



この日は、市内にある中学校、高校を訪問しました。夏休み中でしたが、日程に合わせ登校してくれた先生や学生達が学校を案内してくれました。どの学校も、施設は開放感があり、設備も充実していました。中学・高校ともに、広大なバスケットコートが整備されており、とても印象的でした。



生徒数が二千五百人を越えるピッツバーグ高校では、学生自らが指揮を執りスタジアムで総勢200名以上のマーチングバンドによるドリル演奏を披露してくれました。いずれの学校においても、団員達は積極的にコミュニケーションを図り、地元の学生達とあつという間に打ち解け、別れ際まで写真を撮りあっていました。

●日米の中学校生活を紹介します

事前研修で最も力を入れたのが、英語でのプレゼンテーションの準備です。「Shimonoseki-



「introduction」と題し、下関の四季の行事や中学校生活の様子などを、パワーポイントで紹介しました。非常に緊張した様子でのスタートでしたが、途中のクイズでは時折笑いを誘いながら和やかな雰囲気を発表することができました。

●ホームステイ

団員は、ピッツバーグ滞在中は全てホームステイで過ごしました。今年3家庭で引き受けていただき、それぞれの家庭でいろいろな体験をさせていただきました。5日間ホストファミリーと楽しい時間を過ごす中で、英語の上達はもちろん、アメリカの生活習慣や文化を体験することができました。

●UCバークレー校視察

三日目は、高速鉄道BARTに乗り、名門カリフォルニア大学バークレー校の視察へ向かいました。自然あふれる広大な敷地を有するバークレー校は、カリフォルニア大学発祥の地であり、約2万6千名の学生が所属しています。



充実した展示物や博物館が、膨大な蔵書を誇る二十四時間利用可能な図書館、校内を一望できるシンボルタワーの鐘塔、団員達にとってはどれも新鮮で、海外留学への向上心を刺激されたようでした。

●サンフランシスコ視察

四日目は、ホストファミリーとスクールバスに乗ってサンフランシスコへ。まず訪れたのは、体験型科学



博物館です。広い館内にはいろいろな側面から科学に興味を持ったような展示物が所狭しと展示されており、見て触れて学習できる素晴らしい施設でした。

●お別れプールパーティー

最後の夜、昨年度下関を訪れた訪問団員の自宅でお別れパーティーが開かれました。広い裏庭にあるテラスやプールでみんな大はしゃぎ。ピザやスナックでお腹を満たした後は、団員達がこの日のために準備した日本文化の紹介です。持参した日本文具（竹とんぼ、お手玉、けん玉）や習字道具を使い、扇子や団扇に漢字で名前を書いて、ホストファミリーにプレゼントしました。



博物館を見学した後、観光地である有名ピザ39へ。夏休み最後の日曜日という日もあり、どこに行っても大行列、観光客であふれかえっていました。何とか昼食を買いましたが座ることもできず!!早々に食事をすませて、サンフランシスコグズなどで埋め尽くされた区域内を回り、家族や友人へのお土産を目を輝かせて選んでいました。

●さよならピッツバーグ

朝8時、ピッツバーグセンター駅に集合。涙をこらえて見送りのホストファミリーに感謝の気持ちを伝え、お別れのハグを交わしました。スーツケースにたくさんのお土産と思い出を詰め込み、サンフランシスコ空港に向け、BARTに乗り込みました。



★次はあなたもチャレンジ！

下関市中学生米国派遣研修は夏休みの期間を利用し、英語の上達はもちろん、海外の文化を肌で学ぶことができ、充実した研修です。これを見て興味を持った方は是非チャレンジしてみてください。